

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育実習事前事後指導 Pre-post guidance and teaching practice		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(教職課程必修(幼稚園教諭二種))	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教職課程必修科目、保育実習指導 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程必修科目、保育士養成課程必修科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子、保坂里絵	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
幼稚園での教育実習に臨むにあたり、「幼稚園の役割と機能」「幼稚園教育の性格と特色」「幼稚園教諭の職務内容」などの理論を学ぶ。また、一年次の観察実習における学びを基に、保育の場における指導の実践力を身に付ける演習活動に取り組む。各自が臨む実習園への連絡や事前準備は、目的意識を持って積極的に進める。				
授業の目標				
①観察実習での取り組みをふりかえることで、総合実習に向けての明確な課題と目的を持つことができるようにする。 ②幼稚園教育要領に基づいた保育内容の理解に努め、保育内容の5領域を意識した指導方法を考え、対象年齢に適応した保育計画を立案することができるようにする。 ③計画的に実習をすすめ、実習後の活動も積極的に取り組むことができるようにする。				
授業の方法				
実習前は、実習に向けての幼稚園理解と事前準備の演習活動とする。実習後は、記録の提出を含め実習全体のふりかえりを行う。授業のスケジュールと内容については、実習準備の状況や学習内容理解度によって前後したり内容を加えることもある。映像資料を見ることで、保育内容と幼稚園教諭の職務内容を考える。				
学習の成果(学習成果)				
「幼稚園の保育活動」「幼稚園での指導」「幼稚園教諭の職務内容」について、幼児教育の場に臨むことで学ぶことのできる意味を捉えた実習に取り組むことができる。指導計画については、望ましい幼児の環境を意識した内容で、子どもが主体的に活動できるような立案をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスの説明、授業の進め方、実習内容の確認と実習計画、実習分の補講と欠席の対応) (第1回～15回:高橋担当、第8回～第10回:保坂・高橋担当)			
第2回目	幼稚園教育要領の内容を意識した「実習計画」を作成する(指導案作成に関わる教材研究) 実習オリエンテーションの書類準備と確認			
第3回目	教材研究を重視した保育活動の「製作」に基づく指導案作成(第8回目に持参)			
第4回目	「実習計画」に基づいた演習活動と事前準備に取り組む(実習の目的と課題を明確にする)			
第5回目	幼稚園教諭の職務内容を考える(映像資料:フレーベル幼児教育34分)			
第6回目	教材研究を重視した保育活動の「折り紙手順図」に取り組む(第7回目迄に提出)			

第7回目	幼児教育の指導を考える（映像資料：モンテッソーリ幼児教育35分）	
第8回目	子どもの姿、教育目標、望ましい保育環境を意識した指導案作成①（個別作成・個別指導）	
第9回目	子どもの姿、教育目標、望ましい保育環境を意識した指導案作成②（個別作成・個別指導）	
第10回目	子どもの姿、教育目標、望ましい保育環境を意識した指導案作成③（個別作成・個別指導）	
第11回目	実習後、幼児教育の場としての指導方法と自分自身の取り組みをふりかえる	
第12回目	実習での保育実践を基に指導案の再構成をする（第14回目に提出）	
第13回目	実習報告書としての「自分便り」を作成（参考図書等持参する）（第14回目に提出）	
第14回目	認定こども園での幼児教育・保育を考える	
第15回目	実習のふりかえりと自己評価（実習後の対応確認）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	実習園の教育方針に適応した実習計画と保育計画を立案する努力が明らかである。実習オリエンテーションの準備に進んで取り組み、計画的に実習に臨むことができる。教育者を志す態度が見られる。
レポート		
調査報告書	20%	実習の反省を受け止めた自己評価ができている。
小テスト		
試験	20%	第14回目に「指導案」「自分便り」を提出期日を守って提出する。「指導案」は再構成が明らかであること、「自分便り」は指示された必要内容が描かれていること。
発表内容（態度含む）	20%	第6回授業活動「折り紙手順図」の作成と提出。対象年齢や対処物が適切であること、実際に使用可能と考えられる仕上がりであること、丁寧であること、期限内提出で評価する。
その他		
教科書と参考図書		
幼稚園実習の手引き：佐野短期大学 幼稚園教育要領 各自必要な教材研究図書等の持参可		
履修上の留意点・ルール		
授業への参加態度は、保育学生として相応しいことを求める（服装、態度、言葉遣い、書類管理等含む）。実習による追加授業や補講の日程によっては授業の順番が変更となる。遅刻・早退の3回分は欠席1回として扱う。多欠席・課題の未提出、教員指導後授業態度の改善が見られない、実習前続けて、あるいは特段の理由なく3回以上欠席の場合面談を行い実習延期となる。		